

平成30年度資金調達計画の見直し

当機構は、平成30年度における地方金融機構債の資金調達計画について、下記のとおり見直しました（平成30年12月12日現在）

記

○ 年間資金調達予定額 9,600億円 → 10,600億円

地方金融機構債（政府保証のない公募債） 年間発行予定額：10,600億円

債券の種類	12月11日までの実績	12月12日以降の予定額
国内債	6,400億円	1,100億円程度
10年債	2,200億円	600億円程度
20年債	1,000億円	200億円程度
5年債	200億円	—
30年債	200億円	—
スポット債	—	—
FLIP債	2,800億円	300億円程度
国外債	2,353億円	100億円程度
小計	8,753億円	1,200億円程度
フレックス枠	—	650億円程度
合計	8,753億円	1,850億円程度

(注)

- 1 債券の種類、発行額については、貸付状況、市場環境等により弾力的に対応します。
- 2 フレックス枠については、各種国内債・国外債の増額、スポット債の発行、長期借入の増額等に活用します。
- 3 これまでの実績には、各種債券の額にフレックス枠充当分が含まれています。
- 4 発行に関する情報につきましては、発行の都度ホームページ等を通じてお知らせする予定です。